

SRI ASPで文書倉庫管理 誤廃棄リスクを低減

機密文書保管サービスや文書管理コンサルティングを行うセキュリテイリサイクル研究所(SRI)は、9月からASP方式による文書倉庫の管理システム「SRI RAMOS」(仮称)の販売を開始する。倉庫文書管理における誤廃棄リスクを低減。サーバーの購入・管理が不要になるため、コストも削減できる。

金融機関では通常、文書保管に特化した自社倉庫を管理・運営する。しかし、管理ツールとしては、手書き台帳やエクセルなどに頼ることが多い。そのため、年限管理や在庫管理における精度に限界があり、誤廃棄や紛失などのリスクが高い。

同製品では、簡便に倉庫内の紙文書をインデックス登録し、きめ細かな年限管理や閲覧

・移動などの履歴管理を実現した。

棚や箱もバーコード管理する。通常、検索時にの利便性を考慮して

営業店単位、保存年限単位で文書を保管するケースが多い。そのため、文書が廃棄されるにつれてデッドスペースが発生しがちになる。バーコード管理にすることでこうした弊害も防ぎ、倉庫内の全スペースを有効利用でき

同社は9月14日13時30分から東京・中央区の「ビジョンセンター日本橋」で文書管理システム

のセミナーを行う。常陽銀行における事例紹介や「SRI RAMOS」についても紹介する。